



第82回 JF 米国研修のご案内

5月18日(土)～25日(土)

シカゴ・ニューヨーク(6泊8日)

一般社団法人日本フードサービス協会
会 長 近藤 正樹
副会長/教育研修委員長 谷澤 公彦

米国フードサービス市場はテクノロジーや新たなビジネスモデルの導入などでパンデミックに柔軟に対応し、市場規模はいまや1兆ドルの大台を超え、コロナ禍以前よりもマーケットが拡大しています。本研修では外食の変化のみならず、ネット通販との競争が激しさを増す小売業や中食市場のトレンドを把握し、米国の食のマーケットを俯瞰的に捉えます。国内の外食産業の行く末を見据え、各業界・業態における最新の消費トレンド・ビジネスモデルを探る機会にして頂きたいと思えます。

なお、出発・帰着は羽田空港となります。

●研修テーマ 市場拡大の好循環を創出する米国ビジネスモデルの探求

●研修の主なポイント

- ◎1兆ドルの市場規模を持ち、コロナ禍以前よりもマーケットが拡大した米国外食市場の視察
- ◎米国の様々な業種・業態のレストラン、パンデミック以降の変化の把握
成長著しいファーストフード・ファーストカジュアル・カジュアルレストラン・ファインダイニングの重点視察、テイクアウト・宅配代行・IoT(アプリ等)の活用状況、米国出店市場(不動産・労働市場・訴訟リスク・各種規制等)の把握
- ◎特色の異なる食品小売施設の競合・共存
全国チェーンのグロースリストア、高級デリ専門店、レジレス小売店(Amazon Fresh・Amazon Go)、スターシェフの名前を冠したフードマーケット(Tin Building by Jean-Georges)、グルメスーパー、オープンキッチン・飲食スペース併設のグロースラント(グロースリーのレストラン)、ディスカウント食品スーパー等
- ◎最近の消費者ニーズの動向と外食企業の問題意識
SNS・モバイルオーダー・デリバリーの活用、消費者ニーズの多様化に対応したメニュー・食材(地産地消・フリーフロム・サステイナブル・オーガニック・ヴィーガン・フェアトレード等)、安全安心の訴求、日本食レストラン・食品市場の拡大、人手不足で変化する店舗オペレーション、人件費・食材費・光熱費・システム費・賃料等の高騰、観光客対応等
- ◎ESG(環境・社会・ガバナンス)・SDGs・CSRの取り組み、法規制への対応
- ◎ホスピタリティを重視した従業員教育

●申込締切日 4月17日(水)(定員に到達次第、締切らせて頂きますのでご了承下さい)

●参加費用 会員 お一人様価格 628,000円 (エコノミークラス・2人部屋の場合)

※燃油サーチャージ・空港諸税込み価格(国際線はJALを予定)

☆☆☆ オリエンテーションセミナー ☆☆☆

研修が効果的・効率的に行われるため、テキストと地図、スライド等による事前セミナーを開催。遠方からご参加の方もご出席をお願い致します。お申込み頂いた方には改めてご案内申し上げます。

4月24日(水) 14:00～17:30 JF センター会議室(東京都港区浜松町)

研修スケジュール

スケジュールは予告なしに変更される場合があります。

	日付	訪問都市	主な行動予定
1	5月18日	土	東京(羽田)発 午前 9時頃 羽田空港国際線ターミナル 集合
			シカゴ着 郊外の成長カジュアルチェーン・大型食品小売施設視察 現地セミナー・ディナーレストラン視察
2	5月19日	日	シカゴ NRAショー・ダウンタウンのディナー市場、 シカゴ市内成長カジュアルチェーン 等 自由視察
3	5月20日	月	シカゴ発 シカゴからニューヨークへ
			ニューヨーク着 現地セミナー
4	5月21日	火	現地セミナー、ファインダイニング視察 外食朝食マーケット/ベーカリーカフェ視察 中食市場/外食各業態店舗/最新商業施設視察
5	5月22日	水	ニューヨーク (マンハッタン・ブルックリンのフードサービス・ フードホール・グルメスーパー、SM等) 各種成長カジュアルチェーン・トレンドレストラン・ 日本食マーケット視察、現地企業・シェフとの交流
6	5月23日	木	まとめセミナー、自由視察
7	5月24日	金	ニューヨーク発 ニューヨークから羽田空港へ(機内泊)
8	5月25日	土	東京(羽田)着 羽田空港 午後4時30分頃 到着、解散

◎ 訪問都市

1 シカゴ

創立100年以上の歴史を持つ全米レストラン協会(NRA)主催の NRA ショーを見学 します。世界最大規模のホスピタリティ・食品サービス関連の見本市 NRA ショーでは、1800社以上の団体・企業がホスピタリティ関連の最新の商品や技術をPRしています。1兆ドルという成熟した市場でありながら市場の拡大が続き、世界に流行を発信する米国で訴求されている食材やメニュー、厨房機器、システム、消費者ニーズの視察は今後の国内市場の動向や将来性を把握するうえで欠かせません。店舗運営、人材教育、テクノロジー、商品開発等、様々なカテゴリーのセミナーが開催されるほか、有名シェフが腕を競う調理実演も行われます。健康志向やSDGs対応、人件費や食材等あらゆるモノの価格が高騰し、他社との差別化につながるメニューやブランド戦略、人手不足対策、テクノロジー・AI活用等による生産性向上が課題となる中、サプライヤーがどのような提案を行うのかに注目します。その他、シカゴ中心部のビジネス街ならびに郊外のカジュアルチェーン、小売・中食市場を視察し、店舗でのテクノロジーの活用状況にも着目します。

2 ニューヨーク

ニューヨークには世界中から多様なニーズやバックグラウンドを持つ人が集まり、新しいトレンドが次々と創り出されます。米国ではコロナ前から多くのレストランチェーンがモバイルオーダーによる商品の店頭受取りやデリバリーを導入しており、店外消費(オフプレミス)市場が定着しています。店頭ではオーダーから決済まで完結するキオスク端末を導入して合理化を進める店舗やオフプレミス専門店が増え、店舗オペレーション支援や人手不足対策などのアプリ開発も進んでいます。「健康的で美味しい料理」の代表格として定着した日本食マーケットも拡大が続き、新たなトレンドも生まれています。マンハッタンに新たにオープンした大手スーパーマーケットでは日本の鮮魚売場が話題となっています。そのような現象を店舗視察で体感するとともに、日本食レストランの経営者から、コロナ禍以降の外食トレンドや経営環境にどのような変化が起きているか実体験の話を伺います。 そのほか、最高品質の料理と接客でもてなすファインダイニング、消費者が求める食材やテクノロジーを上手に取り入れているファーストカジュアル店や惣菜売場、レジレス小売店など最新トレンドのフードマーケットも視察します。

また、マンハッタンのみならず、再開発が進み新たなトレンドを生み出しているブルックリンの商業施設やフードサービス、中食・小売市場も視察します。業態・価格帯の異なる多様な外食・中食・小売施設の実地見学を通して、米国外食市場の最前線でなにが起きているかを学びます。

◎ まとめセミナー

研修最後のまとめセミナーでは、食に関わる様々な分野の参加者が米国で得た各自“気づき”を発表し、全員で研修の成果を共有します。

《J F 米国研修参加者の声》

- *多くの企業担当者と人材交流を深め、関わりを持てたことが最大の成果。研修後も外食産業の成長に繋がる意見交換を継続していきたい。
- *食に携わる多様な業種・業態の参加者とあらゆる角度から捉えた話を聞くことは、物事を多角的に視る上で大変参考になる。日常業務から離れ、固定観念にとらわれない柔軟な考えを養う時間を持てたことは貴重な人生経験となった。
- *米国と日本の食文化・サービスに対する考え方の違いを肌で直接感じることは大きな刺激となる。それぞれの国が持つ長所を自覚することは、自社の商品・サービスを向上させるためのヒントが浮かび、改善すべきことが自ずと見えてくる。
- *米国の接客サービス・ホスピタリティ・コミュニケーション能力は群を抜いている。自社の店舗にも取り入れたいと強く感じ、新たな目標を設定することができた。
- *経営者から店長まであらゆる階層の参加者と同じテーブルを囲み、忌憚なく意見を交わすことができる研修は大変貴重で自身の成長に大きくつながったと感じる。

募集要項及び旅行条件

■参加費用 **¥628,000円**（会員 お一人様価格）

■参加費用に含まれているもの

- NRAショー入場料
- 航空運賃／全行程エコノミークラス運賃
- バス料金／空港とホテル間の送迎バス料金及び研修用バス料金
- ホテル料金（ホテルは、ダブルツリーby ヒルトン・シカゴ・マグニフィセントマイル（シカゴ）、ニューヨークヒルトン ミッドタウン（NY）を予定しています。原則2人部屋です。
1人部屋ご希望の場合は、追加料金165,000円を申し受けます。
- セミナー料金／期間中の各種セミナーの費用、講師代、通訳料等
- 航空手荷物料金／お一人につき受託手荷物2個まで。各個のサイズは三辺の合計が157cm以内で、重さは23kgまで。
- 税金・チップ／団体行動中の税金とチップ
- 燃油サーチャージ／空港税、空港施設使用料／出国税、研修テキスト・資料代
- 参加者の個人的事情等により団体行動を辞退された部分についての経費は返却いたしません。
☆協会にてお一人1000万円までの海外旅行傷害保険（死亡・重度後遺障害のみ）をおかけいたします。

■参加費用に含まれていないもの

- 交通費、飲食代、電話料金、クリーニング代、おみやげ品、持込品にかかる関税、超過航空手荷物料金等、個人的と認められる諸費用
- **ESTA申請料 21ドル**（申請を代理店に依頼する場合は3,150円：別添の質問書にもご記入下さい）
ESTA申請時の米国内の連絡先情報：
（ホテル名）DoubleTree by Hilton Hotel Chicago - Magnificent Mile、
（住所）300 E Ohio St, Chicago, IL 60611（電話番号）312-787-6100
- 参加者の傷害疾病に関する医療費（**海外旅行保険への加入を強くお勧めします**）
- 全行程一人部屋追加料金 165,000円
- ビジネスクラス追加料金（事務局へお問い合わせ下さい）

■その他の旅行条件

- この旅行は現地情勢等によりとりやめることがあります。
- 取消料は、下記の通りでございます。

旅行開始の30日前～21日前	参加費用の 20%
旅行開始の20日前～ 3日前	参加費用の 30%
前々日～前日正午前	参加費用の 50%
前日午後～旅行開始後	参加費用の 100%
- 参加者ご自身及び身廻り品に対して蒙られた損害、損失が次の事由による場合は責任を負いません。
天災、火災、海陸空における不慮の災難、交通事故、政府・公共団体の指令、ストライキ、戦争、暴動、空賊、盗難、詐欺、流行病、隔離、税関規則、その他管理し得ざる理由。
- 視察スケジュールについては、現地の都合により変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

申込方法

申込方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、

- ① 顔写真1葉（サイズ：縦4.5cm×横3.5cm）、②名刺1枚、③パスポートのコピー、英文名刺（お持ちの場合）、申込書を協会 FAX 03-5403-1070、または E-mail (edu-jf@jfnet.or.jp 宛) でお送りください。

締切日

4月17日（水） ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費用

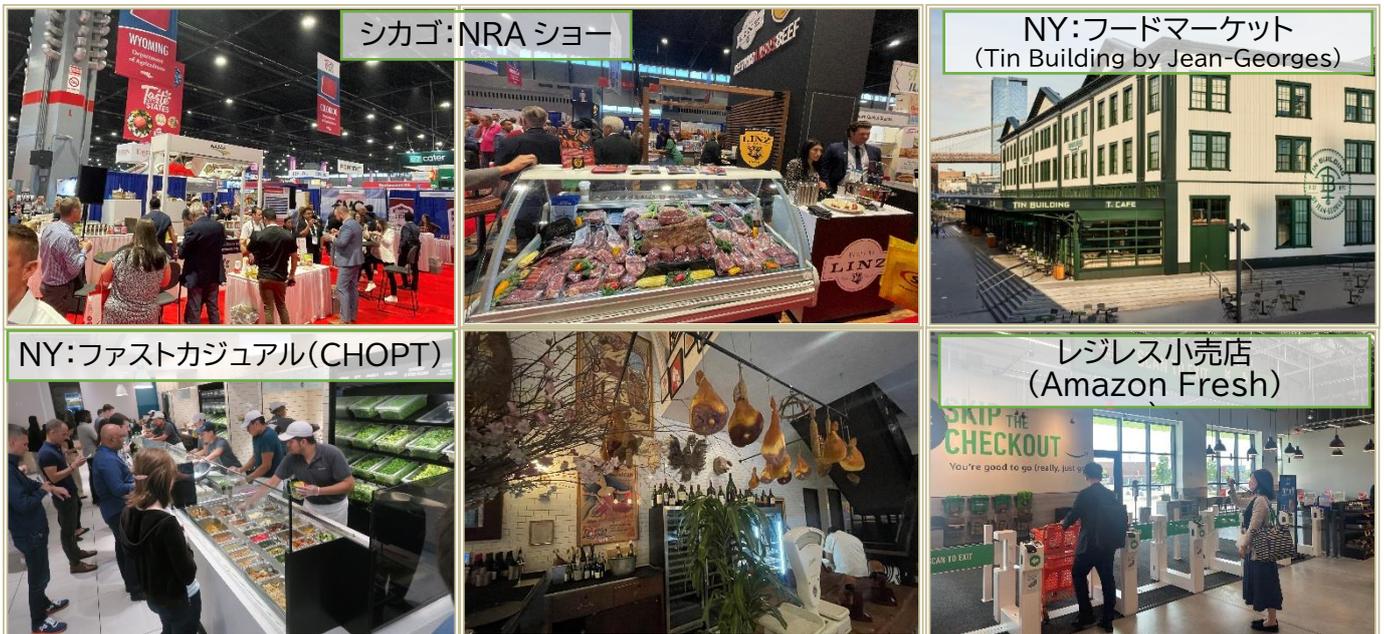
4月30日（火）までに全額を下記口座にお振り込み下さい。

りそな銀行 芝支店 普通預金
口座名 JF海外研修旅行
口座番号 1105390

旅券（パスポート）をお持ちでない方は住民登録をしている都道府県の旅券課・旅券センター等に至急申請して下さい。旅券申請はご自身で行っていただきます。

通常、次の書類が必要となります。

- ①戸籍抄本または戸籍謄本（申請日前6ヶ月以内のもの）・・・・・・・・・・1通
- ②住民票の写し(6ヶ月以内のもの)・・・・・・・・・・1通
住民基本台帳ネットワークシステムで確認可能な方は原則不要
- ③写真(縦4.5センチ×横3.5センチ、背景無地、正面上半身)・・・・・・・・1枚
- ④運転免許証、または健康保険証に加えて公の機関が発行した証明書（申請時持参）
詳しくは各都道府県旅券窓口にお問い合わせください。



★お申し込み・お問い合わせ先 (一社)日本フードサービス協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル10階
TEL: 03(5403)1060 FAX: 03(5403)1070
担当 大塚・岡田 E-mail: edu-jf@jfnet.or.jp

★旅行企画 ワールドトラベルシステム(株) (観光庁長官登録旅行業第992号)

〒158-0094 東京都世田谷区玉川二丁目21番1号 二子玉川ライズ・オフィス8階
TEL: 03(5491)8564 FAX: 03(5491)8562
総合旅行業務取扱管理者 新井友明 担当 貝沼好之

第82回JF米国研修参加申込書

一般社団法人日本フードサービス協会 宛

FAX 03-5403-1070

E-mail: edu-jf@jfnet.or.jp

2024年 月 日

ふりがな			2024/5/18時点	生年月日 (西暦)	年 月 日
参加者氏名	年齢		才		
英文氏名 (パスポートと完全一致)					男・女
勤務先 現在ご勤務中の事業所名 及び住所をお書き下さい。	会社名		ご所属・お役職名		
	英文会社名		英文役職名		
	〒 -				
	電話			FAX	
	メールアドレス(記入必須・フリーメール可) ※NRAショーのご案内が届きます。				
現自宅住所	〒 -				
	電話			FAX	
	携帯電話	米国での使用(できる・できない) ※どちらかを○で囲んでください。			
渡航中の連絡先	氏名			続柄	
	住所(現住所と違う場合のみ記載してください) 〒 -			電話	- -
旅券	旅券番号			発行日	

★ESTA(電子渡航認証システム)の申請について

※米国国土安全保障省(DHS)による電子渡航認証システム(ESTA)が義務化されました。
このシステムはビザ免除プログラムの一部で、米国に短期商用・観光目的(90日以下)で旅行するすべての渡航者は、米国行き航空機に搭乗する前にオンラインで渡航認証を受けなければなりません。

※旅行代理店を通じてESTAの申請をご希望される方(別途追加料金3150円)は、別添の質問書にもご記入下さい。

●ESTA申請済みの方 ⇒ 申請番号 No.

●ESTA未申請の方
※どちらかに○
()ご本人より申請手続きを行う <https://jp.usembassy.gov/ja/visas-ja/esta-information-ja/>
※申請料として21ドル掛かります
()旅行代理店を通じて申込む(手数料(申請料含む)として別途3150円の追加料金を頂戴致します。)

過去の海外研修・セミナー	主催団体名	研修・セミナー名	渡航年月	行先(国及び都市名)
参加経験及び渡航経験				

シングルルーム希望 ホテルでのシングルルームを(希望する・希望しない) ※別途、165000円の追加料金が発生します。

複数で参加され且つ相部屋をご希望の方は相手のお名前をご記入ください。
ご記入がない場合は事務局にて、決めさせていただきます。

旅行代理店を通じて、空港までの国内航空券の手配をご希望される場合は、ご記入ください。
希望区間(片道・往復)出発空港名: ~
※一部路線にて24時間以内に乗り継ぎの場合、国際線乗り継ぎ特別割引運賃が適用されます。
航空券手配後の変更・キャンセルは取消料が発生しますのでご注意ください。
※時間及び料金、eチケットの発行等について、後日代理店よりご連絡させていただきます。

JF事務局・旅行代理店からの連絡先について	本人(会社・携帯)・ご担当者	JF事務局・旅行代理店からの郵便物の送付先	本人(会社・自宅)・ご担当者
ご担当者連絡先	氏名	電話	E-mail:
	所属・役職名		
	住所(案内物の送付先が参加者勤務先と異なる場合のみご記入下さい) 〒 -		

★申込者(お申込代表者・ご担当者氏名)



★お振込先= りそな銀行 芝支店 普通預金 1105390
口座名 JF海外研修旅行

ご参加費 _____円は、____月____日に振込予定

★請求書の送付を(希望する・希望しない)

下記書類を必ず同封してください。
※データでご提出頂いても結構です。
★顔写真(配布名簿ならびにESTA代理申請に使用します)
★お名刺
★パスポートのコピー
(申請中の方は後日お送りください。)

配布用名簿に使用する参加者の顔写真(背景無地)を縦4.5cm×横3.5cm位の大きさをのり付けせずに、クリップでとめて下さい。
※データ提出も可

2：申請者情報 ②

現在使用している別名・日本名がありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→ [姓 / 名]

国籍以外の国から渡航用のパスポートまたは国家身分証明書を発給されたことはありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→発給国 []

発給された書類 [パスポート・国家身分証明書]

書類番号 []

有効期限 [年 月 日]

フリガナ

現住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください 郵便番号 []

電話番号 [] (自宅・携帯・会社)

メールアドレス []

過去 5 年間にSNS を使用したことがありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→ SNS 内でのアカウント名/ハンドル名等

[Facebook ID:]

[LinkedIn のプロフィールリンク:]

[Twitter ユーザーID:]

[Instagram ユーザーID:]

上記以外のSNS 使用歴があればSNS の名前とユーザーID

[SNS 名 : /ユーザーID :]

あなたはCBP Global Entry プログラムのメンバーですか？ [はい・いいえ] (通常は「いいえ」選択)

「はい」の場合→ PASS ID またはメンバーシップ番号 []

両親の情報 (離婚・死別等で縁が切れていても必ず記入が必要)

父親 姓 [] 名 []

母親 姓 [] 名 []

勤務先情報

現在、あるいは過去に勤務歴がありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→ 現在、または直近の勤務先情報を明記

役職名 []

勤務先会社名 []

フリガナ

勤務先住所 []

勤務先電話番号 []

3：渡航情報

米国への渡航目的は乗り継ぎのためですか [いいえ・はい]

→「いいえ」の場合、下記に回答米国内の連絡先情報

ホテル名 [DoubleTree by Hilton Hotel Chicago - Magnificent Mile]

住所 [300 E Ohio St, Chicago, IL 60611] 電話番号 [312-787-6100]

※上記 J F 米国研修の宿泊ホテルを使用しない事情がある場合

氏名・ホテル名・訪問先企業名 []

住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください

電話番号 []

米国内の滞在先住所は上記と同じですか [いいえ・はい]

→「いいえ」の事情がある場合、下記に詳細を記入

氏名・ホテル名 []

住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください 電話番号 []

緊急連絡先（米国内外いずれも可/メールアドレスと電話番号の両方も必須です）

姓 [] 名 []

メールアドレス [] 電話番号 []

4：適格性についての質問（全て回答必須項目）

- 1) 身体的、あるいは精神的な疾病がありますか、あるいは薬物乱用者・依存者ですか。あるいは現在次の疾病を患っていますか。コレラ、ジフテリア、結核、感染症、疫病、天然痘、黄熱病、ウィルス性出熱、エボラ熱、ラッサ熱、マールブルグ熱、クリミア・コンゴ熱等。 [いいえ・はい]
 - 2) 他者または政府当局に対して、所有物に甚大な損害を与えるか重大な危害を加えた結果、逮捕または有罪判決を受けたことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 3) 違法薬物の所持、使用、流通に関するいずれかの法規に違反したことがありますか [いいえ・はい]
 - 4) テロ活動・スパイ活動・破壊工作・集団虐殺に参画しようとしたり参画したことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 5) 自分自身または他者のビザを取得するため、または米国に入国するため詐欺や不正代理行為を犯したことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 6) 現時点で米国での就労を模索していますか、または過去に米国政府の許可なく米国で雇用されていたことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 7) 現在または過去のパスポートで米国ビザを申請されたが却下された、または米国への入国を拒否された、あるいは米国入国地での入国申請を取り消されてことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 8) 米国でオーバーステイしたことがありますか。 [いいえ・はい]
 - 9) 2011年3月1日以降、イラン、イラク、リビア、北朝鮮、ソマリア、スーダン、シリア、イエメンに渡航
あるいは滞在したことがありますか。 [いいえ・はい]
- (1) — (9) の質問が全て「いいえ」の場合→記入はここで終了です。
- (1) — (8)の質問の一つでも「はい」がある場合→詳細説明を別紙に記入して下さい。
- (9)が「はい」の場合→次のページからの質問に回答してください。

他に勤めていたNGO または国際、国家数、州の機関に関して共有したい情報全て（ない場合は「なし」）

[]

その他追加コメントがあれば []

⑧⑨→下記の質問に回答

派遣元の国際（多国間あるいは政府間）機関あるいは地域的（多国間あるいは政府間）機関を特定して明記

[]

派遣元の地方政府または VWP 参加国の機関を特定して明記 []

上記組織・行政内での役職・肩書き []

これまでに米国大使館から G またはA ビザの発給をされたことがありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→ビザ番号を明記 [] (わかれば)

これまでに「国際連合通行証」を発行されたことはありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→通行生番号を明記 [] (わかれば)

(⑨のみ) 派遣元の地方政府または VWP 参加国の機関を特定して明記

[]